

「命」をテーマに絵本作り いろいろな命が見えてくる

9月10日、明倫小学校で写真家の小寺卓矢さんを講師に「いのちの輝きを撮って写真絵本を作ろう」というテーマでワークショップが行われました。

シリーズ まちの学校 VOL. 3 **明倫小学校**
毎月1校、町内の小・中学校を紹介します。

たくさんさんの発見が…

全校児童11人が学校周りで「いのち」を感じたものを撮影し、一冊にまとめる絵本作りに挑戦しました。

撮影前に小寺さんは「この周辺には草木や花など、たくさんさんの命がある。普段よりよくスピードを遅くし、どんなところがあるか探してみよう」と撮影のポイントを説明しました。児童らは、デジタルカメラを手に、思い思いに歩きまわりました。

撮影を終えた山田智也さん（5年）は「いつも見慣れた学校なのに、撮影してみると、これまで気づかなかったところを発見が…」と話していました。

世界にひとつの絵本

撮影後は、校内で写真を印刷し、1人6枚の写真を台紙に貼り付け、写真に合わせた言葉添えて、世界にひとつの絵本に完成させました。

児童会長の酒井亜央（6年）は「最初はイメージがけがはず、苦労したが、小寺先生のアドバイスもあり、上にできたと思う」と今回の絵本作りに対する感想を述べていました。



明倫小学校 今昔物語

昭和の初め、現在の明倫地区に住む学齢児童は、糠内尋常高等小学校まで通学していましたが、開墾に従事する人々が増えたことから、学校設立の気運が高まり、昭和4年10月に明倫小学校の前身である「古舞尋常小学校上茂発谷特別教授場」が開設されました。

昭和15年には教室、廊下、事務室の増築が行われ、この年に古舞尋常小学校から独立し、明倫尋常小学校と改称しました。

翌年、他の学校と同様に国民学校と改め、戦時体制に組み込まれていきました。

明倫小学校と校名を変更したのは、6・3・3制が実施された昭和22年からです。

昭和62年、老朽化していた校舎を全面的に改築することになり、鉄筋コンクリート造り平屋建ての現在の校舎が完成しました。



▲現在の校舎ができる前の旧明倫小学校



▲現在の明倫小学校

学校概要

学校長 干場 敦子
教員数 5人
学級数 3学級
生徒数 11人

※概要は平成24年5月1日現在

1929年（昭和4年）古舞尋常小学校所属上茂発谷特別教授場として開校

1940年（昭和15年）明倫尋常小学校と改称する

1941年（昭和16年）明倫国民学校となる

1947年（昭和22年）6・3・3制実施により明倫小学校と改称する（この時の児童数74人が過去最大）

1979年（昭和54年）50周年記念式典・記念ソフトボール大会の開催

1980年（昭和55年）50周年記念植樹を実施

1987年（昭和62年）新校舎落成記念式

1999年（平成11年）70周年記念式典・記念運動会・記念学芸会の開催

明倫小学校 の沿革